

○水生生物モニタリング調査結果一覧（秋元湖H）

＜秋元湖H 水質底質採取項目＞

項目 調査地点	一般分析項目		放射性物質分析項目			
	水質	底質	水質 (Cs)	水質 (Sr)	底質 (Cs)	底質 (Sr)
H-1	○	○	○	—	○	—
H-2	—	○	—	—	○	—
H-3	○	○	○	○	○	○
H-4	—	○	—	—	○	—
H-5	○	○	○	—	○	—

＜秋元湖H 現場測定項目＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		水質				底質			その他	
	緯度	経度	日	時刻 (水)	時刻 (泥)	水温 (°C)	泥温 (°C)	性状	色相	混入物	全水深 (m)	透明度 (m)	
H-1	37.6579°	140.1277°	H26.10.21	9:00	9:16	15.0	12.9	軟泥	7.5Y4/1	植物片	11.8	2.9	
H-2	37.6623°	140.1227°		—	10:12	—	13.8	軟泥	7.5Y4/1	なし	—	—	
H-3	37.6644°	140.1308°		9:30	9:45	14.9	14.8	砂泥	7.5Y3/2	植物片	6.0	2.6	
H-4	37.6540°	140.1181°		—	10:24	—	14.5	軟泥	7.5Y4/2	植物片	—	—	
H-5	37.6532°	140.1537°		8:23	8:42	14.3	13.9	砂泥	7.5Y4/2	植物片	8.2	2.9	

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 水質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	BOD (mg/L)	COD (mg/L)	DO (mg/L)	電気伝導率 (mS/m)	塩分	TOC (mg/L)	SS (mg/L)	濁度 (度)	Cs-134 (Bq/L)	Cs-137 (Bq/L)	Sr-90 (Bq/L)
	緯度	経度	日	時刻												
H-1 (表層)	37.6579°	140.1277°	H26.10.21	9:00	7.5	0.8	3.8	9.8	5.0	0.03	1.8	1	1.6	0.0041	0.014	—
H-1 (下層)					7.2	0.7	3.2	8.5	5.1	0.03	1.7	1	1.8	0.0092	0.029	—
H-3 (表層)	37.6644°	140.1308°		9:30	7.4	1.5	4.3	9.7	5.8	0.03	2.1	4	2.2	0.016	0.050	—
H-3 (下層)					7.3	0.8	3.8	9.1	5.0	0.03	1.8	2	1.7	0.0092	0.027	0.0014
H-5 (表層)	37.6532°	140.1537°		8:23	7.3	1.6	4.8	8.7	5.3	0.03	2.9	2	1.8	0.011	0.034	—
H-5 (下層)			7.1		1.1	4.1	8.4	5.2	0.04	2.3	2	2.0	0.0049	0.019	—	

＜秋元湖H 一般分析項目・放射性物質分析項目 底質＞

項目 調査地点	調査緯度・経度		調査日時		pH	酸化還元電位 E <sub>N.H.E</sub> (mV)	含水率 (%)	IL (%)	TOC (mg/g-dry)	土粒子の密度 (g/cm <sup>3</sup> )	粒度組成								Cs-134 (Bq/kg-dry)	Cs-137 (Bq/kg-dry)	Sr-90 (Bq/kg-dry)
	緯度	経度	日	時刻							礫 (2~75mm) (%)	粗砂 (0.85~2mm) (%)	中砂 (0.25~0.85mm) (%)	細砂 (0.075~0.25mm) (%)	シルト (0.005~0.075mm) (%)	粘土 (0.005mm未満) (%)	中央粒径 (mm)	最大粒径 (mm)			
H-1	37.6579°	140.1277°	H26.10.21	9:16	6.8	210	63.9	8.8	21.6	2.594	0.0	0.3	0.1	0.3	58.3	41.0	0.0079	2	3.8	24	—
H-2	37.6623°	140.1227°		10:12	6.8	197	74.8	13.8	47.7	2.457	0.0	0.0	0.3	0.1	46.7	52.9	0.0044	2	200	710	—
H-3	37.6644°	140.1308°		9:45	6.5	206	74.6	16.7	61.8	2.427	0.0	0.1	0.2	11.8	59.6	28.3	0.018	2	740	2,200	1.7
H-4	37.6540°	140.1181°		10:24	6.8	202	66.7	8.9	28.0	2.565	0.0	0.2	0.5	4.1	43.2	52.0	0.0043	2	150	490	—
H-5	37.6532°	140.1537°		8:42	6.7	212	51.4	5.8	13.0	2.646	0.0	0.1	7.0	42.6	32.1	18.2	0.074	2	91	220	—

注) N. D. は、not detected (検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

<秋元湖H 分析項目 水生生物>

地点	採取場所	調査緯度・経度		採取日	門	綱	目	科	種名	和名	個体数	採取重量 (kg-wet)	特記事項			Cs-134 (Bq/kg-wet)	Cs-137 (Bq/kg-wet)	Sr-90 (Bq/kg-wet)		
		緯度	経度										成長段階	胃内容物	測定部位					
H-1 H-2 H-3 (中津川 周辺を含む) H-4付近	湖内	37.6579°	140.1277°	H26.10.21	藻類・植物	—	—	—	—	プランクトン (浮遊藻類)	相当数	0.010	—	—	—	7.7	25	—		
	湖内				被子植物	トチカミ	トチカミ	<i>Elodea nuttallii</i>	コカナダモ	相当数	0.19	—	—	—	—	—	1.8	5.9	—	
	流入河川				節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera japonica</i>	フタスジモンカゲロウ	489	0.026	幼虫	—	—	—	—	29	93	—
	流入河川				節足動物	昆虫	カゲロウ	モンカゲロウ	<i>Ephemera strigata</i>	モンカゲロウ	96	0.12	幼虫 (ヤゴ)	—	—	—	—	7.0	21	—
	湖内				節足動物	昆虫	トンボ	オニヤンマ	<i>Anotogaster sieboldii</i>	オニヤンマ	43	2.1	成体	—	—	—	—	8.9	28	7.8
	湖内				節足動物	軟甲	十脚	サリガニ	<i>Pacifastacus levisculus trobridgi</i>	ウチダザリガニ	210	0.15	成体	—	—	—	—	6.9	22	—
	湖内				節足動物	腹足	吸腔	カワニナ	<i>Semisulcospira libertina</i>	カワニナ	101	0.34	成魚	—	—	—	—	4.8	16	—
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	キョウリウイ	キョウリウイ	<i>Hypomesus nipponensis</i>	ワカサギ	42	0.058	成魚	—	—	—	—	3.2	9.7	—
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Phoxinus lagowskii steindachneri</i>	アブラハヤ	20	4.8	成魚	緑藻類	—	—	—	17	57	0.73
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Tribolodon hakonensis</i>	ウグイ	12	1.7	成魚 (5歳)	—	—	—	—	14	42	1.3
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Carassius auratus</i>	ギンブナ	4	2.7	成魚 (4歳)	—	—	—	—	6.5	23	1.2
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	コイ	コイ	<i>Hemibarbus barbuis</i>	ニゴイ	5	1.7	成魚 (4歳)	魚類	—	—	—	10	34	—
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	ササギ	ササギ	<i>Salvelinus leucomaenis</i>	イワナ	8	3.2	成魚 (3歳)	—	—	—	—	13	45	1.0
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	ササギ	ササギ	<i>Micropterus dolomieu</i>	コクチバス	6	0.46	成魚 (3歳)	オニヤンマ	—	—	—	7.6	25	—
	湖内				脊椎動物	硬骨魚	ササギ	ササギ	<i>Lepomis macrochirus</i>	ブルーギル	5	0.026	成体	—	—	—	—	3.2	12	—
	湖内				脊椎動物	両生	無尾	アマガエル	<i>Rana rugosa</i>	ツチガエル	3	0.015	成体	—	—	—	—	2.8	5.7	—
湖内	脊椎動物	両生	有尾	イモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>	アカハライモリ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—				
流入河川	粗粒状有機物	—	—	—	—	—	—	—	水底落葉等	相当数	0.14	—	—	—	17	55	—			

※1：生物は、当該調査水域またはその周辺で採取したものである。

※2：水生生物を複数採取できた場合は、これらを混合して試料とした。

※3：複数種の混合試料においては、最も多く採取できた優占種を、和名に下線で示した。

※4：生物試料は、全個体を測定することを原則とするが、消化器系に残留した未消化の餌料や底泥等は測定しないよう、内臓(胃、腸)の除去が可能な試料については、除去して測定した。

※5：成長段階の赤字記載は、鱗または耳石による年齢査定の結果を示す。

※6：プランクトン(浮遊藻類)とは、湖沼水または海水を40μmのプランクトンネットで濾した残留物を指す。

※7：河床付着物(藻類を含む)とは、石に付着した藻類をブラシ等で掻き落としたものであるが、無機態のシルト・粘土等の微細粒子が含まれることがある。

※8：N.D.は、not detected(検出下限値未満)を示し、括弧内の数字は検出下限値を示す。

※9：放射性物質濃度の数値には計数誤差等が含まれているが、本報においては記載していない。